

企業・大学食堂へのとうきょう元気農場産農産物サンプル供給 実施報告書

1 供給先の概要

企業・大学名	東京家政大学
所在地	東京都板橋区加賀 1-18-1
従業員数 学生・教職員数	教職員（専任教職員数） 646 名 学生（大学、大学院、短大含む） 6,737 名 （令和3年5月1日現在）
業種	教育

2 実施内容

提供日	第1回（夏作）：7月7日（水）～7月12日（月） 第2回（秋作）：12月8日（水）～12月14日（火）
提供場所	板橋キャンパス 学生食堂 （運営：東京学校用品株式会社）
メニュー内容	第1回（夏作）： 【栄養学を学ぶ学生によるレシピ】 「さっぱり！シャキシャキ！じゃがたまサラダ」（じゃがいも、たまねぎ使用） 「東京産野菜を食べよう！ハムポテトサラダ～サルサソース添え～」（じゃがいも、たまねぎ使用） 「じゃがいもとベーコンのBBQソース和え」（じゃがいも、たまねぎ使用） 「～ほんのり赤い～トマトポテサラ。」（じゃがいも使用） 「いももち」（じゃがいも使用） 【学生食堂シェフ考案】 カレー、麺（じゃがいも、たまねぎ使用） 第2回（秋作）： 【栄養学を学ぶ学生によるレシピ】 「さつまいもと大豆のバジルマヨサラダ」（さつまいも使用） 「さつまいものミルク煮」（さつまいも使用） 「大根の和風ペペロンチーノ」（さつまいも、大根使用） 「だいこんの麻婆あんかけ」（大根使用） 「あっさりなます」（大根使用）

<p>提 供 数</p>	<p>第1回（夏作）：合計 342 食</p> <p>【栄養学を学ぶ学生によるレシピ】</p> <p>「さっぱり！シャキシャキ！じゃがたまサラダ」 32 食</p> <p>「東京産野菜を食べよう！ハムポテトサラダ～サルサソース添え～」 45 食</p> <p>「じゃがいもとベーコンの BBQ ソース和え」 45 食</p> <p>「～ほんのり赤い～トマトポテサラ。」 30 食</p> <p>「いももち」 45 食</p> <p>計 197 食</p> <p>【学生食堂シェフ考案】</p> <p>カレー89食、麺 56 食</p> <p>計 145 食</p> <p>第2回（秋作）：合計 321 食</p> <p>【栄養学を学ぶ学生によるレシピ】</p> <p>「さつまいもと大豆のバジルマヨサラダ」 63 食</p> <p>「さつまいものミルク煮」 69 食</p> <p>「大根の和風ペペロンチーノ」 79 食</p> <p>「だいこんの麻婆あんかけ」 70 食</p> <p>「あっさりなます」 40 食</p> <p>第1回（夏作）・第2回（秋作）合計：663 食</p>
<p>取 組 内 容</p>	<p>・栄養学を学ぶ学生延べ 10 名がとうきょう元気農場産野菜を使用したレシピを考案し、学生食堂で提供しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(夏作メニュー)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(秋作メニュー)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

・学生がとうきょう元気農場やレシピに関するPOPを制作し、学生食堂に展示しました。



・学生食堂シェフによる、とうきょう元気農場産野菜を使用したレシピを提供しました。



・東京都提供の資料（4種）を配布し、東京産農産物等のPRを行いました。



・食堂利用者（学生・教職員）を対象にアンケートを実施しました。
 ・「とうきょう元気農場」農場体験見学会に教職員が参加し、収穫体験や農場見学を行いました。



取 組 結 果

・レシピ考案学生の反応、感想
 「東京の野菜のおいしさを実感した」、「東京産野菜のことをあまり知らなかったなので、今回の活動で知識を深めることができた」、「じゃがいもとたまねぎを使ったレシピはたくさんあってオリジナリティーを出すのが難しかった」、「日々の暮らしの中でも東京産野菜のことをアピールしたいと思う」等の感想がありました。
 レシピを考案するにあたり、メイン食材の特徴や背景を知ることの重要性を

感じる学生が多かったようです。

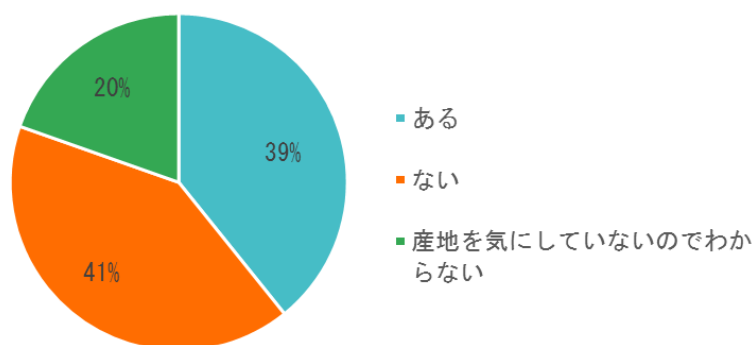
また、学生によって身近な学生食堂にて提供されることで、自身も食べられることに加え、友人にも周知でき、実際に提供される様子を見ることでやりがいや達成感につながったとの意見が挙がりました。

・喫食者の反応、感想

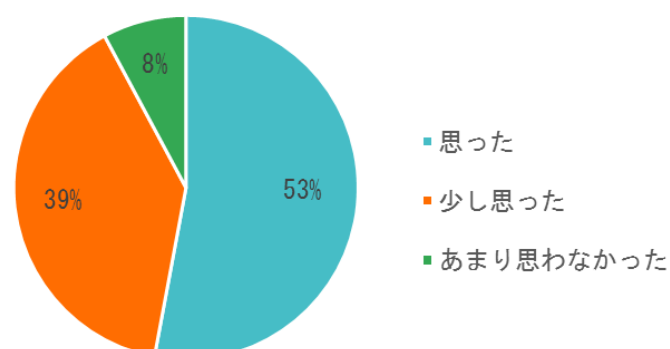
「東京都の活動を学生考案のメニューを通して知ることができ、とても有意義だった」、「東京産の野菜はあまり見たことがなく、買うことがないので貴重な機会だった。今後売っているのを見かけたら是非買ってみたいと思う」、「産地について、これまで国産か海外産かしか気にしたことがなかったが、これからは東京産かどうかチェックしてみようと思った」等の感想がありました。

食堂利用者へのアンケートでは、「東京産の食材を購入したことがない」または「産地を気にしていないのでわからない」と回答した人は約6割でしたが、東京産の食材を使用した学生考案レシピを喫食した結果、「今後購入したいと思った（少し思った）」と回答した人は約9割にのぼりました。

東京産の食材を購入したことがありますか。



今回東京産の食材を食べて、
今後東京産の食材を購入したいと思いましたか。



第1回（夏作）の提供時に第2回（秋作）の告知を行っていたため、第2回はより反応が大きく、手に取っている姿を多く見受けました。2回の提供を通して、学生・教職員に広く周知できたように思います。